

(仮訳)

日本国総務省及び欧州委員会通信総局の間の
次世代通信ネットワーク(5G)を巡る戦略的協力に関する共同宣言

日本国総務省及び欧州委員会通信総局(以下「双方」という。)は、通信インフラが未来のデジタル経済の背骨であり、より多くのより良い雇用を創出し、日本と欧州連合の双方にとって利益となる持続可能な成長に貢献することを認識した。したがって、双方は、次世代通信ネットワーク(以下「5G」という。)の時宜を得た開発の重要性について合意した。

5G は、インテリジェントモビリティ、e-ヘルス等重要且つ増大する社会的需要に対応することを可能とする新たなアプリケーション、そして新たな「エコシステム」を可能とする。その意味で、5G は市民の個人的、経済的活動をあらゆる側面で支援する観点から、現代社会において不可欠な役割を果たすことになる。

この文脈で、双方は、5G の定義に関する共通理解の醸成、5G に関する世界的標準化の推進、世界的な相互運用性を確保するための周波数政策の調和及び電気通信分野での技術的進歩を加速するための共通の関心事項に関する研究活動の促進等、5G 分野における協力を強化することを構想する。

双方は、特に以下に掲げる事項について、協力を強化する予定である。

- 2015 年末までに第 1 回の共同進捗評価を行うことを目標に、5G に関する、大まかな定義、主要機能、目標とするタイムテーブル等についての共通理解に至るよう努める。
- 3GPP、ITU 等関連する国際会議の場における協調した標準化作業を支援することを考慮しつつ、5G に関する世界標準の形成を促すよう協力する。
- 5G に関する追加の周波数要求に見合った、国際的に調和のとれた周波数帯を特定するよう協力するとともに、この文脈で、ITU 及び WRC の枠組における協力を強化する。
- (次世代の高画質映像コンテンツ配信方法や、「コネクテッド・カー」「e-ヘルス」と呼ばれる垂直領域等)、高い潜在的な社会的価値を提供できる新たなアプリケーション及びエコシステムの発展を支援し、促すよう協力する。
- 5G ビジョンの発展及び標準化を支援するための更なる可能性を協調して模索するため、2016 年の共同公募を端緒として、5G

(仮訳)

の分野における共同研究活動を協調して推進する。

双方は、5G に関する官民パートナーシップの重要性を認識し、日本及び欧州連合において 5G に関与している産業団体間の交流が深化することについての支持を表明した。

ベルギー王国ブリュッセル及び日本国東京において英語で作成された。

ギュンター・エッティンガー欧州委員

高市早苗大臣

2015年5月12日

2015年5月27日